

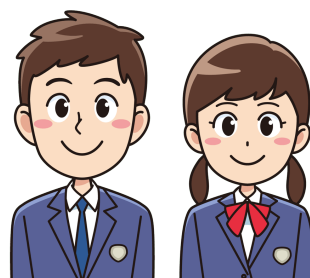
入学前学習・専門分野導入プログラム

3つの「わたし」を比べてみよう

みなさんは、4月からの大学生活に夢を膨らませていることと思います。これまでに「心理学」を学ぶ機会はほとんどないと思いますので、専門的な授業がうまく理解できるだろうかと心配されている方もいらっしゃるかもしれません。そこで、みなさんにはひと足先に「心理学」の内容に触れてもらいながら、みなさん自身の将来にも役立つような課題に取り組んでいただきたいと思っています。

「心理学」は、教科書や専門書を読んで知識を身につけるだけでなく、いろいろな体験をもとに学ぶ(気づく)ことも重要です。特に文教の心理学科では、日常での生活体験に根ざした学びを大切にしています。このような学びを深めていくためには、周りの出来事や人に興味や疑問をもち、一つの物事を多面的に把握・理解し、自分なりの考えをもとうとする意識や姿勢が必要です。こうした意識や態度は、大学での学びへの興味とつながり、様々な学問の本質を得ていくために役立っていくと、私たちは考えています。

このような考えから、みなさんに「入学前学習・専門分野導入プログラム」を提示します。課題の具体的な内容や取り組み方、提出の方法については、次のページ以降に記していますので、説明をよく読んで取り組んでください。



1. 課題の内容

この課題は、ワーク①～③で構成されています。以下に示した手順に沿って、それぞれのワークに取り組みましょう。各ワークで用いるワークシートは、この資料の4ページ以降に示していますので、A4用紙に印刷し使用してください。

課題の手順

【ワーク①】 3つの「わたし」に関するアンケートの回答

(1)現在、(2)入学後の大学2年生頃^{※1}、(3)大学卒業後^{※1}の3つの時点での自分像についてアンケートに回答し、自分自身の姿をイメージしてもらいます。

^{※1} 課題に取り組む際に、大学2年生頃/大学卒業後の各時点での自分の姿を想像し、その自分像のイメージについてそれぞれアンケートに回答してください。

【ワーク②】 3つの「わたし」に関するアンケートの集計

ワーク①で回答した3つの時点での自分像のアンケート結果について、ワークシートに沿って5つの行動特徴に分けて集計し、得点化します。

【ワーク③】 3つの「わたし」に関するアンケート結果の可視化

ワーク②で集計・得点化した結果をレーダーグラフにまとめ、3つの時点の自分像の特徴を可視化します。

2. 課題の提出について

課題の取り組みの成果を記録した各ワークシートを以下の要領にしたがって提出してください。提出いただいたワークシートは心理学科の教員が確認し、適宜フィードバックを行う予定です。

提出方法と期限

- A4用紙に印刷した表紙とワーク①～③の全てをそろえて、**左上をホチキスで綴じてください。**
- 入学時に手渡しで提出してください(詳細は、入学後に担当教員から説明があります)。

入学前学習・専門分野導入プログラム
3つの「わたし」を比べてみよう
(表紙)

提出日： 年 月 日

(※入学時に手渡しで提出してください)

受験番号	氏名
------	----

【ワーク①】 3つの時点の「わたし」に関するアンケートの回答

3つの時点(現在, 入学後の大学2年生頃, 卒業後)での自分について, 次の質問はどの程度あてはまると思いますか。3つの時点ごとに次の5段階で評価し, あてはまると思う数字に○をつけてください。

	現在の自分	大学2年	大学卒業後
	全くあてはまらない あまりあてはまらない どちらともいえない ややあてはまる 非常にあてはまる	全くあてはまらない あまりあてはまらない どちらともいえない ややあてはまる 非常にあてはまる	全くあてはまらない あまりあてはまらない どちらともいえない ややあてはまる 非常にあてはまる
① 自分から仲間との会話をはじめ	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
② やってほしいことを人に伝える	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
③ 疑問に思ったことを質問する	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
④ 自分の気持ちを素直に表現する	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑤ 失敗したときはすぐに謝る	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑥ 自分の気持ちをコントロールする	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑦ 非難されてもそれをうまく解決できる	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑧ 自分のいる状況に合わせて行動をする	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑨ 友だちと気まづくなっても仲直りできる	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑩ 不安や怖さを感じてもうまく処理をする	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑪ 必要なときには周りの人の手伝いをする	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑫ 怒っている友だちをなだめる	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑬ 矛盾した話を聞いてもうまく処理する	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑭ 違う考えの人たちともうまく付き合う	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑮ 難しい話でもその内容を理解しようとする	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑯ 将来に向けて自分なりの見通しをもつ	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑰ 課題や仕事を達成するための方法を考える	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑱ 必要な情報を集める	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑲ 仕事があまくいかない原因を見つける	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑳ 目標や問題を重要な順に並べる	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
㉑ 主体的に自分の生活を送る	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
㉒ 自分の行動や生活に責任をもつ	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
㉓ 一日のスケジュールを決めて実行する	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
㉔ 自分自身を成長させる努力を続ける	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
㉕ 充実した生活を送るための努力をする	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

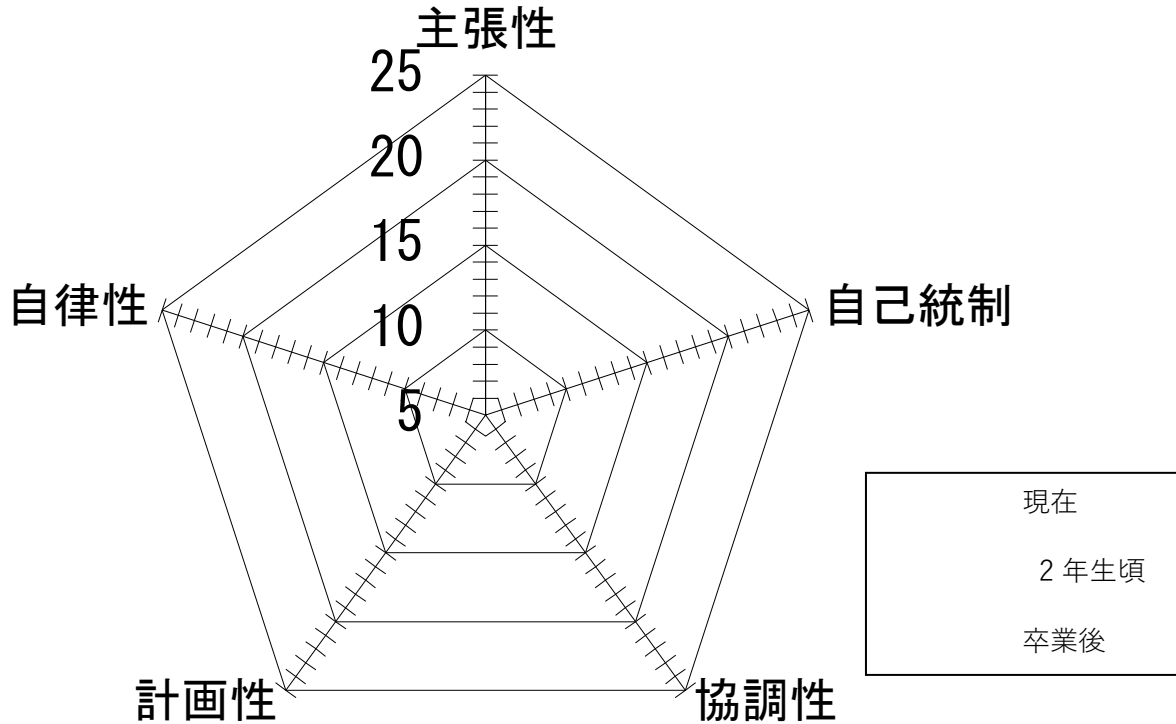
【ワーク②】 3つの時点の「わたし」の5つの行動特徴の得点化しましょう

【ワーク①】の質問では、人の行動特徴を次の5側面からたずねました。その5側面とは、**主張性**（①～⑤）、**自己統制**（⑥～⑩）、**協調性**（⑪～⑮）、**計画性**（⑯～⑳）、**自律性**（㉑～㉕）についてです。ここでは、5つの側面ごとに、また3つの時点ごとに、【ワーク①】での数字を下の表に転記し、あなた自身の行動特徴の得点を集計してみましょう。

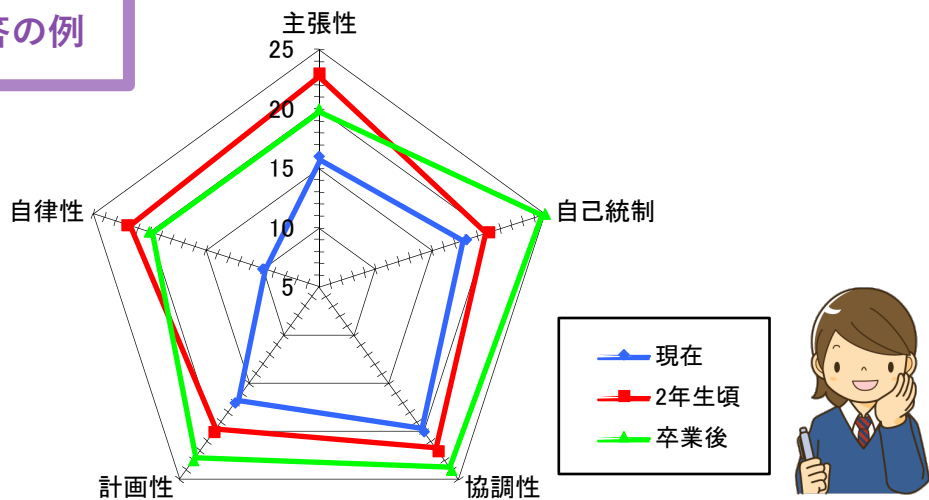
	番号	現在の自分	大学2年生頃	大学卒業後
主張性	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	合計			
自己統制	⑥			
	⑦			
	⑧			
	⑨			
	⑩			
	合計			
協調性	⑪			
	⑫			
	⑬			
	⑭			
	⑮			
	合計			
計画性	⑯			
	⑰			
	⑱			
	⑲			
	⑳			
	合計			
自律性	㉑			
	㉒			
	㉓			
	㉔			
	㉕			
	合計			

【ワーク③】 3つの時点の「わたし」の5つの行動特徴を可視化しましょう

【ワーク②】で集計した5つの側面の行動特徴の各合計得点を、それぞれの時点：現在の自分：青，大学2年生頃：赤，大学卒業後：緑（色ペンのない人は黒で違いが分かるように線や点線等で3種類の線で引いてください。右下の口に時期ごとの線の種類をかいて、色（線）分けしレーダーグラフで表しましょう。このページの一番下の例を参考にしてください。



回答の例



考えてみよう

現在と大学2年生頃，大学2年生頃と大学卒業後のグラフで違いが大きいところはどこだろう？逆に，ほとんど変わらないところはどこだろう？

得点が大きく変化しているということは，そこを伸ばしたいということだよ。だとすると，その行動特徴を身につけるにはどうしたらいいかな…